

新宮山彦ぐるーぷ第1927回ー5

春季連休中の行仙宿への来宿舎の対応と

継ノ窟案内と長椅子(ベンチ)作り作業など

◇実施日：平成29年05月04日(木・祝)～5月06日(土)

5月04日(木・祝) 曇り小雨

◇参加者：沖崎吉信、濱野兼吉、中前 偉、川島 功。 4名。

川島は、行仙宿登山口に8時20分に到着し、行仙宿9時10分着。沖崎・濱野・中前氏は、地藏岳の鎖場点検と笠捨山捲き道の倒木処理に行った後で、管理棟・行仙宿はきつちり戸締りされていた。

丸太からチェンソーで板挽きした板は、佐田ノ辻に干していたが濡れを防ぐ為、宿内の上段左端に、2枚一段毎にリングをかまし11枚運び込んだ後、資材倉庫内の整理をする。

11時半頃より昼食、この間に通過する登山者(約6名)にコーヒーの接待をする。

12時半過ぎに鎖場点検と笠捨山捲き道の倒木処理を終えた一行が行仙宿に戻り「鎖場問題なし、倒木は根を切って処置、大ハンマーの置場所が判らず回収出来なかった」との報告がある。



昼食のくつろぎ



聖護院所属の行者



継ノ窟で勤行

食事をしてしていると行者堂辺りから法螺の音がする。程なく前鬼から南奥駈行の聖護院所属・京都の田沢行者が本日宿泊される。行者は継ノ窟に行きたいとの事から、霧雨が漂っている中14時前から川島が案内する。継ノ窟に14時10分着、行者の勤行が窟内に響き渡り、実利行者の供養をして15時前に戻ると、沖崎・濱野・中前氏は下山されていた。

5月05日(金・祝) 霧雨後晴れ後曇り

◇参加者：川島 功、梶野照雄。

2名。

起床4時、宿内は殆んど起きて食事中である。行者堂での田沢行者の勤行に同席し、玉置神社へ5時10分出立され「満行されますように！」と見送る。



4日来宿者と懇談



勤行後の出立



旧通信道への同行者

旧通信道に置いた大ハンマーは、置いた本人しか判らないだろうとハンマー回収に行く事にする。

津市の女性客2名は、笠捨山をピストンして、下北山村と交渉して(計画書提出)介護タクシーを使用出来る事になり、前鬼林道に停

めた車回送の便宜をして貰えたとのこと。旧通信道を通り笠捨山に登りたいとのことから、ハンマーの置いた地点まで同行することにした。

行仙宿6時15分に発ち、ハンマーを置いた地点で女性客と別れハンマーを回収して8時過ぎに行仙宿に戻る。

昨日、午後より小雨が降り続いたので、水場の確認に降りると、僅かに堰から流れていたが、殆んど水が流れていない、10L補給。10時10分頃に「川島さん！」と以前同宿した登山者が、玉置神社に向う途中で休憩に立寄りコーヒー接待。

程なく、梶野氏が到着し板挽きした板に、丸木を高さ40cmになる様に輪切りし、チェンソーで二つ割り、板の長椅子の脚にする。昼食を終えた12時過ぎに、湯川氏と従弟の細川君がビール1箱を担いで登って来る。昨日、地藏岳まで行ったが天気が悪く引き返したとのこと。細川君は、本日神戸市に帰るからと13時40頃に急いで下山された。

時間がない中、ビール持参で来宿対応者の陣中見舞いに来て下さり、本当にありがとうございます。



以前同宿した来宿者



昼食中



下山前の記念撮影

(記 川島)

午前9時30分、補給路登山口に到着、前日に中前さんがモノレールを登山口まで下ろしてくれていたのので、駐機場まで登らずにすみ楽チンだった。

着替えて、背負子に荷物を縛り持ってみると、意外と重い。計ってみたら17kgあった。丸鋸やインパクトドライバー、コーチスクリュー30本など、工具と資材が12kgあった。



工具が重く17kg



鉄塔前の山桜満開



小屋内に積まれていた

第二ベンチを過ぎて、送電鉄塔前の山桜が、いつもの年よりも遅く咲いていた。補給路脇の薄黄緑のヒカゲツツジもほぼ満開で、5月を感じさせる。午前10時40分に行仙宿到着。

先日製材した板が見当たらない。雨が降ったので、濡れないようにと小屋内に置かれていた。荷物を下ろして、川島さんにベンチの製作手順を説明する。

管理棟とトイレのLEDが点灯しない、と告げられて配線をチェック、充電コントローラーの出力が0Vになっている。原因が解らないまま、とりあえずバッテリーに直結して点灯するようになった。その後、夕方になって小屋のLEDも点灯しなくなる。バッテリーの電圧を測ってみたら、5.2Vまで低下していた。暗くなってしまう

たので点検作業はできず、宿泊者に「E」照明不調を告げて、発電機の明かりに切り替えた。

翌朝に原因が判明、単純なミスだった。ソーラーパネルの接続をON/OFFするスイッチにカバーを取付け際、うっかりOFFにしてしまったことが原因で、30日から5日まで、まったく充電されていなかったためにバッテリー電圧が極端に下がってしまった。昼食を食べ終えたところに湯川さんと従弟の細川君が缶ビール1箱を背に登ってこられた。4人で食事して談笑、湯川・細川君は午後1時過ぎに下山された。

ベンチ造り開始、40cm位に輪切してくれていた丸太を35cmに切り揃えて、縦半分に分けてベンチの脚にした。



4人で昼食



丸太を縦割りに



板に脚の取付け

座板と脚の取付けは、座金を噛ませた10cmのコーチスクリュー2本で固定した。ぐらつくようならLアングルで補強しようと思っていたが、しっかりと固定出来たので、手間が省けた。聖護院出仕6名の座る丸太椅子は、傾いて少しぐらつく椅子が3脚あり、垂直になるように手直した。

順調に作業は進み、L≒180cmが5脚、L≒245cmが3脚



丸太椅子の手直し計測



計測どおり輪切り



ベンチ完成

の合計8個のベンチと丸太椅子が完成し、16時半に作業が終了した。

18時から管理棟で夕食、コシアブラ(乾さん)ナシタバ(川島)を天麩羅に、持ってきた最上級のトンカツとで豪華な夕食になった。天麩羅2皿分は、宿泊者に振舞った。



天麩羅とトンカツ



小屋内で宿泊者と



6日朝、最後の出發者

その後小屋で宿泊者の対応、21時頃にトレラン者が立寄るだけで通過し、早立ちの宿泊者には一寸迷惑である。21時半に発電機を止めて就寝した。宿泊者は、13名。

5月6日(土) 曇りのち一時雨

◇参加者：川島 功、梶野照雄、乾 克己。

3名。

午前4時過ぎに目が覚め小屋を覗きに行くと、宿泊者全員が起きていた。発電機を動かして照明を確保した。宿泊者は午前5時頃から続々と出発、最後の4名が出発した後に朝食にした。



門主用の椅子完成



登山口の水場へ



テーブルを運ぶ

朝食後、川島さんは水場の段差補修(3段)と水補給へ。

私は一枚残っていた板を切って、お堂内に椅子(宮城門主様用)を作製し、その後登山口水場から水10Lを持って上がった。

川島さんに水場の様子を聞きながらコーヒードで休憩、再びモノレール終点に下りて、据置のテーブルを小屋まで運んだ。

下る途中、鉄塔の手前で鈴の音が聞こえてきた。登って来られ乾さんと出会ってしばらく立ち話。モノレール終点まで一気に下

ってテーブルを分解し、背負子に縛る。約10kgだが天板が頭より高くなるので、小屋まで枝に2回ぶつかつた。小屋前にテーブルを置いて本日の作業は終了。



3人で昼食



乾さんの見送り



ツアーサポートの車

3人で昼食を摂り、乾さんに後を託して13時45分下山開始。13時前から小雨が降り出したが、激しい雨ではなかったので川島さんは雨具なし、私はビニール傘をさして下りた。

第2ベンチ下で濡れながら登ってくる男性2名と出会う、今日宿泊のツアー客のサポートで食事などを担ぎ上げているという。ツアー内容は、乾さんに説明しておいたので、指示を受けるように伝えて、モノレールで下山した。

行動タイム

04:30起床→09:35登山口水場→10:10行仙宿10:50→モノレール
終点→11:48行仙宿13:45→14:23補給路登山口。

(記：梶野)